

サポート企業だより

令和4年9月26日

渡島教育局
社会教育指導班

学校へドローン寄贈と講習会の開催



サポート企業と学校との連携！

大鎌電気株式会社 × 北海道函館工業高等学校

9月1日（木）北海道函館工業高等学校（伊藤良平校長）において、大鎌電気株式会社（大鎌幸雄社長、令和3年2月26日協定締結）から、ドローンの寄贈及び、大鎌社長によるドローンの将来性や関連法規の説明、操作方法のレクチャーが行われました。

3月にオンラインで行われたサポート企業交流会で大鎌社長から、「学校に活用してもらう目的で、小型のトイドロンを寄贈する準備をしている」との話題があり、このたび函館工業高等学校へ40台のトイドローンの寄贈が実現しました。



今回寄贈されたドローン



インストラクター資格を持つ大鎌社長から、飛行のルールや産業への活用について説明

寄贈式・体験会には定時制課程電子機械科3年生の7人が参加し、一人一台ドローンを組み立て、実際に体育館で飛行体験をしました。同校卒業生の従業員が補助する中、生徒は昇降、前後進など基本操作を学び、締めくくりとして設定されたコースを、いかにスムーズに飛行できるか、タイムトライアルが行われました。好記録も飛び出し、参加者の笑顔と歓声が響き、楽しくドローンに親しむ時間となりました。



テイクオフの手順を確認



希望する学校はご相談ください！

体験した生徒は「操作の難しさがあ、面白い。飛行のルールも知ることができて勉強になった」と話し、同校の三原教頭先生（定時制課程）は「地元企業からの支援はとてありがたい。今後授業等での活用を模索していきたい」と話していました。

大鎌社長は「国もドローンを活用していく方針を示しており、若者が身近に触れ、興味を持つきっかけになれば」としています。また、「今後もドローンを希望する学校があれば、校種を問わず使用方法の説明と併せて寄贈の準備をしている」とのこと。ご希望、お問合せは渡島教育局社会教育指導班（0138-47-9586）、または大鎌電気株式会社（0138-46-1378）までご連絡ください。



株式会社オカモトと新規締結！

全道で125者、渡島管内では7者が新たにサポート企業に登録されました！

締結の様子
岡本謙一社長（左）

7月21日（木）、帯広市に本社を置く株式会社オカモトと北海道教育委員会との間で「北海道家庭教育サポート企業等制度」の締結式が十勝教育局で行われました。

ガソリンスタンドやフィットネス事業など幅広く活動する同社は従業員の家庭教育支援に力を入れており「今後は親子での体験活動等、家庭教育の分野まで支援できるよう制度の範囲を拡充し、同時に休暇を取得しやすいように環境を整備したい」とのことでした。

十勝教育局
「社会教育クローズアップ」

渡島管内締結企業